

市民に開かれた庁舎を視察

7/31 新潟県新発田市 8/1 新潟県三条市

建設経済
委員会



新潟県新発田市

今回、1日目の7月31日(水)に、新潟県新発田市「市庁舎ヨリネスしばた」を視察しました。地上7階地下1階の庁舎は、1階から3階に住民が利用しやすい窓口機能と吹き抜けの半屋内広場「札の辻広場」があり、イベントや憩いの場として市民に開かれた庁舎でした。本町の新庁舎建設にも参考となる部分を多く感じました。

2日目の8月1日(木)は、新潟県三条市「中心市街地活性化の取り組み」を視察。「三-Me.」は空き家を活用したチャレンジショップや移住体験。「TREE」はシャッター通りの商店街で、古民家を活用したカフェレストラン。1階はカフェ、2階にコワーキングスペースがあり、若者のやる気に寄り添う地域の拠点となっていました。



新潟県三条市

庁舎を交流の場に

8/8 兵庫県揖保郡太子町 8/9 徳島県鳴門市

総務企画
委員会



兵庫県太子町

太子町庁舎は、執務棟、議会棟、町民が自由に利用できる交流棟とセパレートになっています。庁舎敷地内には、24時間誰でも入ることができるほか、交流棟は平日や土日など、午後10時まで開放されています。耐震につきましては、阪神・淡路 大震災の約1.5倍の耐震性があります。



徳島県鳴門市

鳴門市庁舎は、建築家、内藤廣氏の設計で、地元の木材を室内の天井・壁・床などにふんだんに利用して、あたたか味のある庁舎になっています。免震装置が付いており、大規模地震が発生した場合、庁舎内の備品などの散乱を防ぎ、即座に職員が災害時の緊急対応をできるようになっています。

7/8 東浦町議会視察受入



全員協議会室にて

議会におけるタブレット活用について、東浦町の視察を受け入れました。

8/20 福井県大野市議会視察受入



議場にて

現在議会広報の改革を進めている福井県大野市議会の視察を受け入れました。

8/6 町村議会広報研修会

議会だより
特別委員会



研修会場にて

アイリス愛知にて開催された愛知県町村議会広報研修会へ参加し、全国の先進事例や近隣市町の誌面を参考にした講義を受講しました。

文字数やデザインだけでなく、住民の皆様に読んでもらえる企画力も大切だということを学びました。